

# 修繕業務仕様書

## 1 事業名

上弓削ロードパーク休憩棟修繕業務（右京区京北下弓削町奥山\_国道 162 号）

## 2 業務の目的

国道 1 6 2 号沿いの上弓削ロードパーク（以下、R P という。）において、経年劣化により、休憩場として設置された施設が損傷しており、使用ができない状態となっている。これより、R P の損傷部分において適切に修繕を行うことで利用可能にするものである。

## 3 履行期間

契約締結の日から令和 8 年 3 月 2 4 日（火）まで

## 4 履行場所

国道 1 6 2 号上弓削ロードパーク内 右京区京北下弓削町奥山

## 5 業務範囲

別紙委託箇所図・対象エリア及び写真を参照

## 6 業務内容

添付した箇所図及び写真に示した部分の修繕を行う。

修繕業務で生じた廃材は受注者により適正に運搬し処分を行う。

対象となる休憩場は下記に貼付した写真-①の施設である。

写真-①



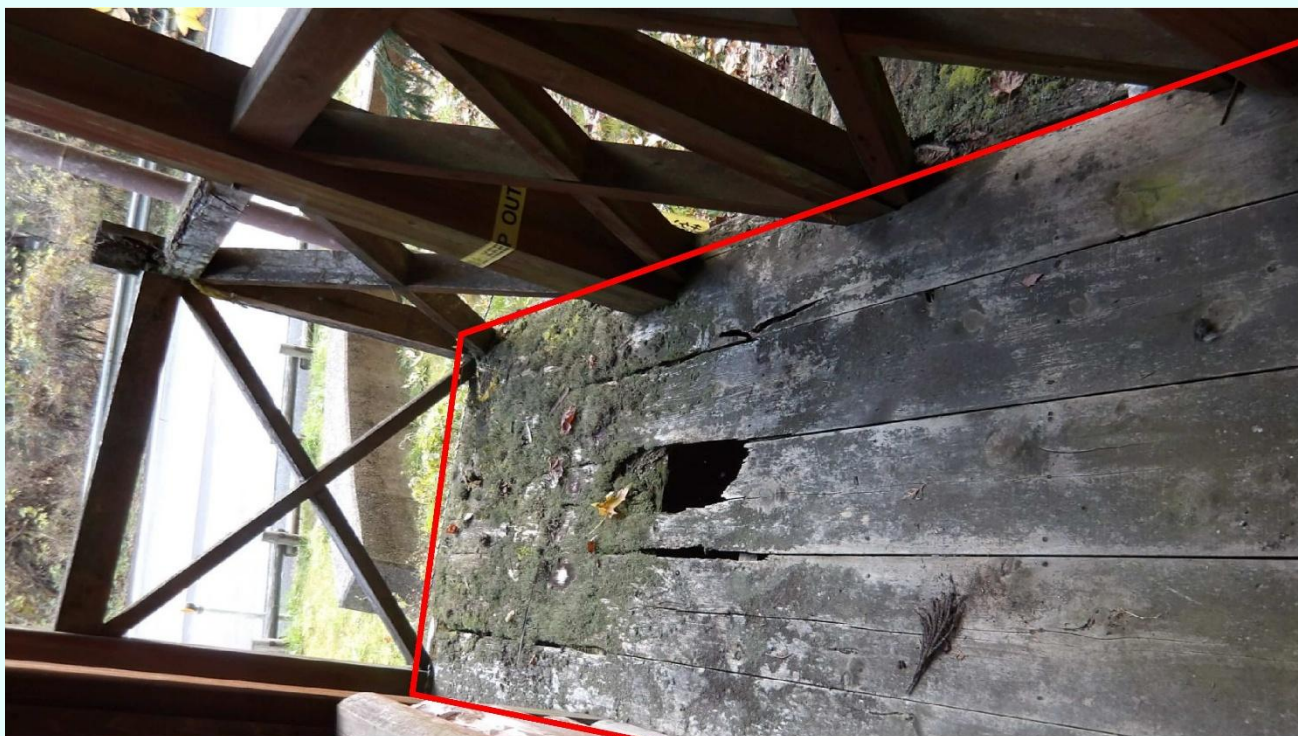
修繕箇所は休憩所内伏図及び修繕一覧表に示した①～⑨と屋根の⑩の部分である。

□ 修繕①：床板の張替交換





□ 修繕②：床板の張替交換



床下の根太材も損傷しているため交換とする。

□ 修繕③：縦地（柱）の交換

修繕④：基礎柱と大引きの隙間解消





□ 修繕⑤・⑥：上桟と筋交交換



□ 修繕⑦：足場板交換





□ 修繕⑧：上棧と筋交追加



使用材の断面は他の箇所と同等とする。

□ 修繕⑨：床材と階段板撤去





□ 修繕⑩：下り棟の材料（木と金物）の交換



## 7 見積項目

材料及び労務費、交通誘導員、収集運搬処分費、経費は必要に応じて任意に計上する。

## 8 支払条件

業務完了後、履行場所（業務範囲）において適切に業務が履行されていることを本職員と確認のうえ、本業務に係る経費を支払う。

提出する書類

1. 業務完了報告書（様式 19）

[https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/cmsfiles/contents/0000190/190817/R0702\\_11-sekkei-word.doc](https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/cmsfiles/contents/0000190/190817/R0702_11-sekkei-word.doc)

2. 請求書

[https://www.city.kyoto.lg.jp/kaikei/cmsfiles/contents/0000300/300554/13\\_1seikyuusyo.xls](https://www.city.kyoto.lg.jp/kaikei/cmsfiles/contents/0000300/300554/13_1seikyuusyo.xls)

3. 写真（着手前、完了時、履行時）※データ提出可

着手前及び完了時の写真は定点での撮影として、対比ができるようにする。

## 9 特記事項

（費用）

- ・ 作業に要する労務費、交通誘導員、車両運転費、仮設資材費、機械工具類の賃料・損料、消耗品費及び諸経費等の全ての費用は、本業務に含む。
- ・ 業務に伴い発生した廃棄物は適正に処理するものとし、運搬費及び指定した廃材以外の処分費も本業務に含む。
- ・ 本業務に要する材料は本委託に全て含む。

（安全）

- ・ 作業にあたっては飛来落下、資材の散乱飛散が無いよう注意する。

- ・ 屋根関連の修繕を行う際は足場等の確認を行い、落下によるけが等が無いようつとめること。
- ・ 足場等、仮設に要する費用も本業務に計上をする。
- ・ 作業実施者の安全管理については、受託者の責任において行うこと。
- ・ 作業中の事故をはじめとした問題が生じた場合は、速やかに本市担当職員に連絡すること。また、事故等により、第三者や他の工作物に与えた損害については、受託者の責任において対応すること。

#### (工程)

- ・ 当該エリアは降雪等の気象影響を受けやすい。このため、作業においては予め天気予報等を確認したうえで計画を立てること。
- ・ 作業日時の周知は、予告看板をR P内に1週間前を目途として設置すること。
- ・ 作業時間は原則として土日祝日を除く平日の午前9時から午後5時の間とする。

#### (その他)

- ・ 作業で生じる材料廃材は極力現地に仮置きをせず、除去したその都度搬出をする。
- ・ 仮置きするやむを得ない事情が生じた場合、明示を行うこと。
- ・ 本作業完了後、完成書類等を速やかに作成し、直接手渡しを行うか、メール※にて本市担当者に提出すること。

(※[keihokudoboku@city.kyoto.lg.jp](mailto:keihokudoboku@city.kyoto.lg.jp))

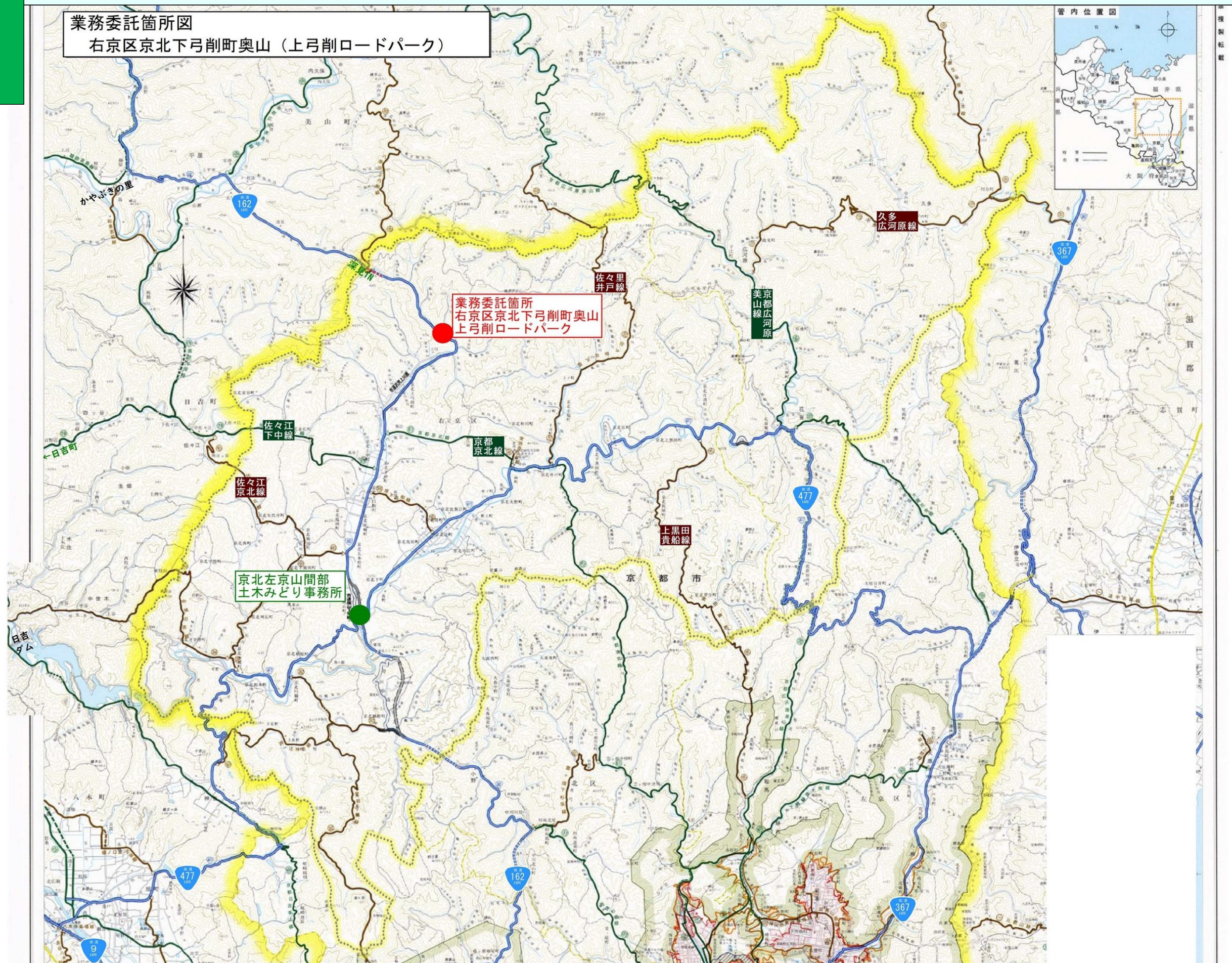
- ・ 作業時は可能な限りR Pを利用する車両の妨げにならないよう、十分注意する。
- ・ 使用する木材料はスギ材を想定しており、防腐処理を施したものを使用すること。
- ・ 修繕⑧の箇所に関して、使用する材料は防腐処理を施したマツ材もしくはヒノキ材を用いる。
- ・ 木材の組合せは接木とするか、目立たないような位置に釘や金具を施すこと。
- ・ 修繕②に関して、既存の床板を撤去した際に大引き材の損傷度合いを確認して、必要に応じてエポキシ樹脂材により断面欠損部の修繕を施す。
- ・ 修繕④に関して、隙間解消材は基礎柱と同等以上の材料もしくはダンパーゴムとする。



- ・修繕一覧表に示した規格寸法は参考値であり、修繕に際しては原寸を測定し、現状に即した部材寸法とする。

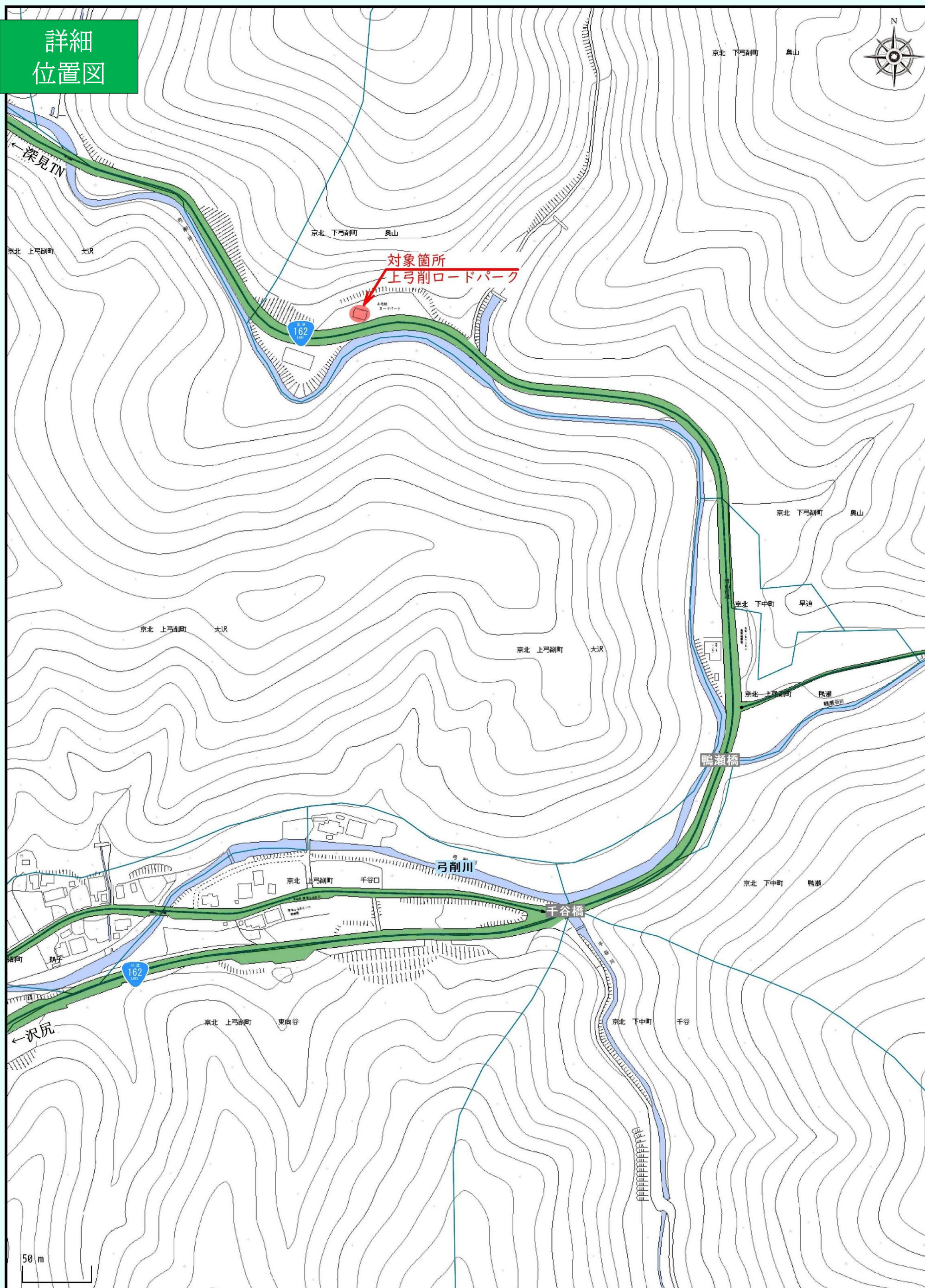


全体  
位置図



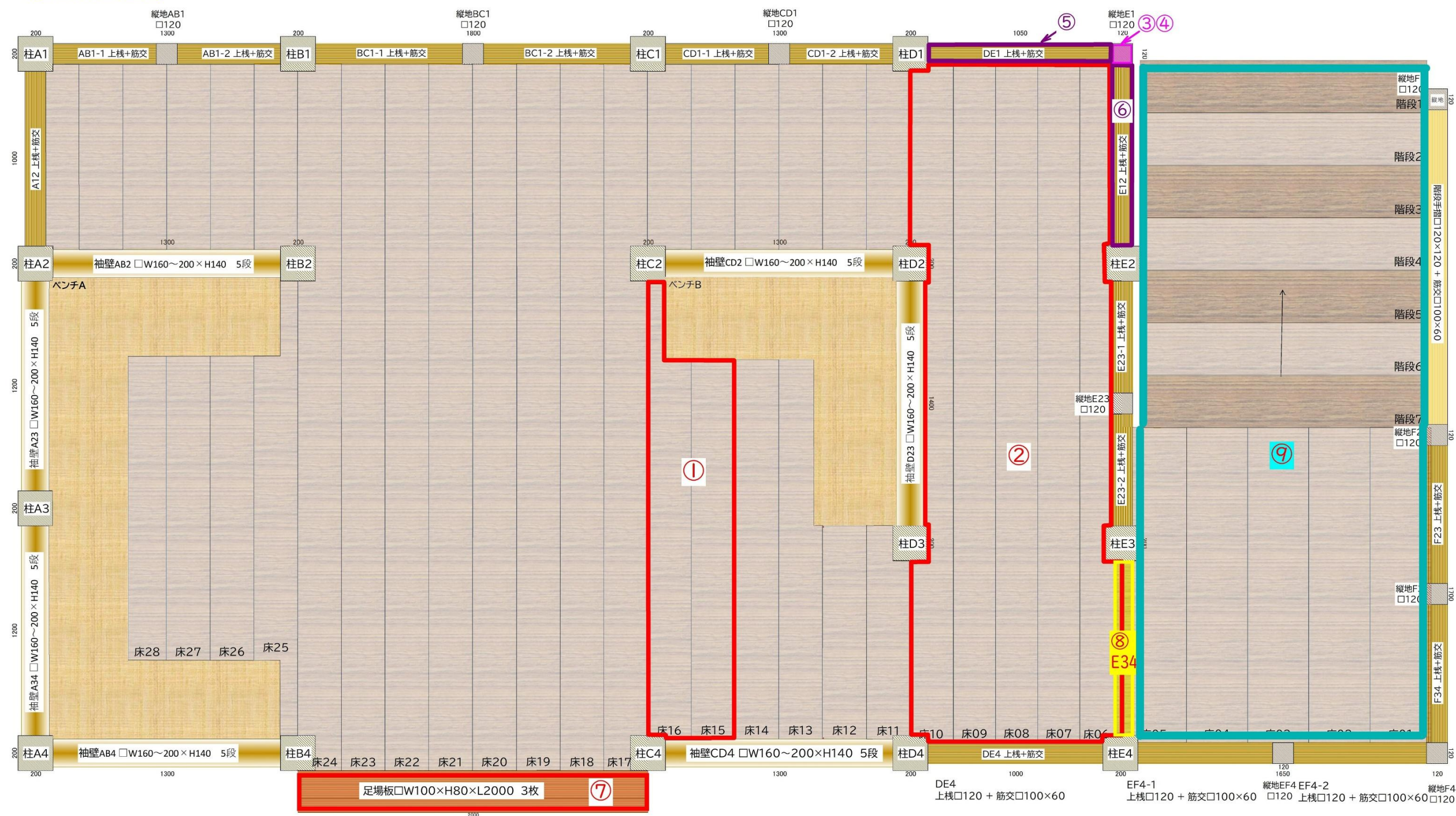


詳細  
位置図





休憩所内伏図





修繕一覧表

位置 記号	部材		形状	内容	備考
①	床板	E15～16	□W235×t30×L2900	交換	要防腐処理
②	床板	床 6～10	□W235×t30×L4050	交換	根太材(□60×50)も交換 @380
③	縦地	E1	□120×120×L1200	交換	
④	柱	E1	□200×L60(隙間)	隙間をなくす	大引きと基礎柱の間に6cm程度の隙間がある
⑤	上棧	DE1	□W100×t60×L1040	交換	
	筋交	DE1	□W100×t50×L1420	交換	
⑥	上棧	E12	□W100×t60×L1050	交換	
	筋交	E12	□W100×t50×1420	交換	
⑦	足場板		□W100×t80×L2000	交換	
⑧	上棧	E34	□W100×t60×L1000	追加	
	筋交	E34	□W100×t50×L1420	追加	
⑨	床板	床01～05	W320×t30×L1800	撤去	
	階段板	階段1～7	不明	撤去	
⑩	下り棟	木と板金	不明	交換	原寸要実測

